

芸術と生活の根^{プリ}

—李朝の興—

李朝は14世紀末からおよそ500年の歴史を持つ朝鮮最後の王朝である。この間李朝文化が育んだ伝統文化は、両班(支配階級)と常民、男と女、儒教と民間信仰など、文化の二重構造を特徴としながら、多くの優れた芸術作品を生み出して来た。

今回の展覧会は、出羽桜美術館に所蔵されてきた芸術品、生活用具の中から、李朝時代の人々の日常を身近に感じられるものに焦点を当てた。

彼らのおおらかで、力強く、そして想いのこもったものづくりを垣間見ながら、李朝時代の朝鮮半島で生きた人々の芸術と生活に触れてみたい。

京都造形芸術大学
比較藝術学研究センター所長
高階 秀爾



李朝鉄硯

公開シンポジウム

「李朝 - 生活の技と美 - 」

日時：2008年11月28日(金) 午後4時30分 - 6時

会場：京都造形芸術大学

NA - 40X 人間館A棟講義室)

定員：100名(先着順)

パネリスト：朝倉 敏夫(国立民族学博物館教授)
大野木 啓人(京都造形芸術大学教授)



李朝白磁初期(退村面江)馬上杯

主催：京都造形芸術大学 比較藝術学研究センター ギャラリー・オーブ

後援：国際交流基金 財団法人日韓文化交流基金

協力：財団法人 出羽桜美術館
朴 益洵 (文化財庁文化財委員会 無形文化財工藝分課委員長)
仲野 益美(財団法人 出羽桜美術館理事長)
加藤 千明(財団法人 山形美術館館長)
鈴木 典子(財団法人 出羽桜美術館学芸員)

監修：朝倉 敏夫(国立民族学博物館教授)
高階 秀爾(比較藝術学研究センター所長)

企画：大野木 啓人

制作：玄 善米

事務：大原 典子



鶏龜山刷毛目徳利



彫三島小瓶



李朝白磁 透彫芭蕉文筆筒



李朝石彫彩色童子像 女

李朝石彫彩色童子像 男



李朝刺繍虎(武官)胸当

芸術と生活の根^{プリ}

—李朝の興—

主催：京都造形芸術大学 比較藝術学研究センター ギャラリー・オーブ

出品協力：財団法人 出羽桜美術館

後援：国際交流基金 財団法人日韓文化交流基金

2008年11月28日(金) - 12月23日(火・祝) 休館日：日曜

午前10時30分 - 午後6時30分

ギャラリー・オーブ(京都造形芸術大学 人間館1階)



本学へのアクセス

市バス5系統、3系統、204系統
「上終町京都造形芸術大学前」
下車すぐ
叡山電鉄叡山線「茶山駅」より
徒歩10分
駐車場・駐輪場はございません
ので、公共の交通機関をご利用
ください。

京都造形芸術大学

Galerie Aube ギャラリー・オーブ

2008年11月28日(金) - 12月23日(火・祝) 休館日：日曜

午前10時30分 - 午後6時30分

606 8271 京都市左京区北白川生山2-116 Telephone 075 791 9122 Facsimile 075 791 9127
http://aube.kyoto-art.ac.jp/